IFSA の連合化に対する 日本ファジィ学会の対応について

水本 雅晴*

国際ファジィシステム学会 IFSA (International Fuzzy System Association) は、本年 6 月の IFSA 理事会にて「連合(federation)」として再出発することが決定されました(詳しくは、本号、菅野・廣田「IFSA の Federation 化について」を参照下さい)。これにより、日本ファジィ学会は、連合としての新規 IFSA の 1 ソサイエティとしての役割を担うことになりました。なお、IFSA は SOFT, NAFIPS などいくつかのソサイエティから構成される予定ですが、最終的に幾つになるかは、現在調整中です。

日本ファジィ学会理事会では、前期理事会での決定事項でしたが再度審議し、ソサイエティの会員資格として

B 会員 年会費：\$ 1000 投票権：2

にて参画することを決定しました。これより、日本ファジィ学会は、今後、年会費 1,000 ドルを支払い、IFSA 連合体での人事等の議決に対し 2 票の投票権を持つことになります。

また、ファジィ関連学会などで発行している国際雑誌

- Fuzzy Sets and Systems
- Int. Journal of Approximate Reasoning
- Bulletin for Studies and Exchanges on Fuzziness and its Applications
- Int. Journal of Uncertainty, Fuzziness and Knowledge-based Systems
- Journal of Advanced Computational Intelligence

に関して、日本ファジィ学会の会員の皆様方は、1998 年 1 月発行分より、日本ファジィ学会を通じて購読することが可能となり、IFSA 会員割引価格が適用される予定です。後日、詳しい案内を行います。

以上の件に関しまして、よろしく御了承下さるようお願い申し上げます。

* Masaharu MIZUMOTO
大阪電気通信大学
日本ファジィ学会会長